

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【公表番号】特表2001-503168(P2001-503168A)

【公表日】平成13年3月6日(2001.3.6)

【出願番号】特願平10-511655

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 17/60

【F I】

G 0 6 F 15/40 3 8 0 A

G 0 6 F 15/401 3 3 0 Z

G 0 6 F 15/21 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月24日(2003.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年 9月24日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年 特許願 第511655号

2. 補正をする者

名 称 リンコ・インコーポレーテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル 206区
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

別紙の通り

方 式 査
審 査

(別紙)

「請求の範囲」の記載を次の通りに補正する。

『1. マシン読み取り可能媒体に固定されたソフトウェアシステムであって、プロセッサにより実行されると、自由にフォーマットされたテキストドキュメントを含むドキュメントを受け取り、前記自由にフォーマットされたテキストドキュメントから情報のフォーマットされたデータベースを生じさせる統合ソフトウェアツールと、

プロセッサにより実行されると、前記フォーマットされたデータベースを受け取り、解析出力を生じさせる解析ソフトウェアツールと、

を備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。

2. 請求項1記載のソフトウェアシステムにおいて、前記統合ソフトウェアツールは、

コンセプトワードルーツとコンテキストワードルーツとインスタンスワードルーツとを関係付けるコンセプト辞書と、

前記ドキュメントを受け取り、前記ドキュメントに含まれている複数のワードを生じさせるパーサと、

前記パーサによって構文解析されたワードを受け取り、前記受け取られたワードに対して対応するワードルーツを生じさせるルータと、

前記コンセプト辞書と前記ワードルーツとを受け取り、前記受け取られたワードルーツに基づいてそれぞれのワードルーツに対応するコンセプトを識別するコンテキストと、

を更に備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。

3. 請求項2記載のソフトウェアシステムにおいて、前記ワードルーツは、ターゲットワードルーツと、前記ドキュメント内の前記ターゲットワードルーツに近接する場所から発したと前記パーサによって識別される近接ワードルーツとを含んでおり、前記コンテキストは、

近接ワードルーツと一致するコンテキストワードルーツを有するすべてのコンセプトを前記コンセプト辞書において識別するコンテキスト認識装置と、

前記コンテキスト認識装置によって先に識別されており、前記ターゲットワー

ドルーツと一致するインスタンスワールドルーツを更に含むすべてのコンセプトを識別するインスタンス認識装置と、

を更に備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。

4. 請求項1記載のソフトウェアシステムにおいて、前記解析ソフトウェアツールは、

前記フォーマットされたデータベースを受け取り再構成して、類似のトピックをクラスタ化することにより、類似トピックで構成されるそれぞれのクラスタが1つのグループとなっているグループ化されたデータベースを形成する対角化ツールを更に備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。

5. 請求項1記載のソフトウェアシステムであって、前記解析ソフトウェアツールは、

それぞれのデータベースエントリが必要であるかオプショナルであるかを定義するカタログを更に備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。

6. 請求項4記載のソフトウェアシステムであって、前記解析ソフトウェアツールは、

前記グループ化されたデータベースから前記グループを受け取り、前記グループに存在する情報及び前記グループには存在しない情報に基づいて推論が引き出される推論型データベースを生じさせる推論装置を備えていることを特徴とするソフトウェアシステム。』

以上